



CLOSE UP VOICE

中部ガス不動産 株式会社
代表取締役社長 赤間 真吾 さん

「つながり」を生み出す
まちづくりを目指して

「みんなが主役となり つながりを生み出すまちの拠点を
つくる」をコンセプトとした再開発事業により誕生し、駅前の
新たな人気スポットとして注目を集める「em
CAMPUS」。今回は「emCAMPUS」を手がける「中部ガス
不動産 株式会社」に、建設の経緯や将来のビジョン、人材
育成、ウィズ・アフターコロナに向けての展開など、多岐に
わたるお話を伺いました。

高い人材レベルでお客様の
豊かな暮らしをサポート

—— 御社の事業内容を教えてください。

赤間 ▶ 1965年、中部ガス株式
会社（現・サウラエナジー 株式会
社）の不動産等の資産管理会社
として設立された「中部ガス不動
産 株式会社」は、東三河および静
岡県遠州を中心に、売買仲介・賃
貸仲介・資産管理・マンション分

譲・不動産鑑定事業・まちづくり
事業と、不動産に関するあらゆる
ことを取り扱う総合不動産企業と
して、地域の皆様とともに歩んでき
てまいりました。近年では、「あなたの
「笑む」が満ちるキャンパス」をコンセ
プトにした「emCAMPUS EAST」
が昨年オープンし、注目を集める中
で弊社も以前に増して「人のつな
がり」の創出に励み、より良いまちづ
くりを実現することで地域に貢献し
続けたいと考えています。

—— 経営理念やスローガンなどを
伺わせてください。

赤間 ▶ 「この街で一番声をかけて
もらえる存在に」を合言葉に、地域
の皆様の豊かな暮らしの実現に貢
献するため、人的関係や親しみやす
さはもちろん、プロフェッショナルリ
ティと経験を兼ね備えた頼りになる
パートナーであることを常に心がけ
ています。そのため、社員一人ひとりの
研鑽とチームとしての組織力強
化に日々取り組んでいます。

—— 人材育成に注力されているよ
うですが、不動産業における人材
の特徴や御社の人材の強み、具体
的な育成方法を教えてください。

赤間 ▶ 一般的に全ての企業で「人が
全て」と言われています。不動産業
は自社商品がないだけに、社員のレ
ベル差が集合体としての企業の差に
繋がるため、特に人材の力が重要で
す。弊社では、お客様に安心して取
引していただけるよう、最初のお問
合せから最後の契約・引き渡しまで
一人の担当者が行うスタイルを採用
しています。これは知識や経験など
総合的なビジネス力を持つ人材だ
からこそできるものであり、弊社の
強みであると確信しています。

人材育成に関して、いままでは
OJTによる指導で、総合的なビジ

ネス力を身につけておりました
が、より質の高い技術と経験に加
え、広い知見を習得させるために、新
たな研修を取り入れています。この
背景には、地域や会社に縛られない
自由な発想と新たなチャレンジを生
み出して欲しいという想いも込めて
います。具体的には、若い社員を中
心に他社と交流しながら学ぶ研修
や、東京をはじめとした大都市にあ
る施設の視察、人気店舗へのリサー
チを行なっています。また、視察をす
るだけで終わりでなく、調査結果は
会議でプレゼンテーションすること
により社員全員で情報共有を行
なっています。

人材育成に関しては、まだまだ模
索をしている段階ですが、この改善
によってお客様へのサービス向上に
繋がりが、ご満足いただける結果に結
びつければ大変喜ばしいことです。

—— 仕事をやる上で大切にしてい
ることは何ですか。

赤間 ▶ 歴代の社長を含め、私が常
に社員に伝えているのが「安心安全
が第一」であることです。業界内では、
営業マインドが強すぎて多少無理を
しても取引を進めてしまう場面があ
る。しかし、不動産業はコンプライア
ンスを含め、お客様にとって「安心安全」
はもちろん、社員・企業にとっても

INTERVIEW

中部ガス不動産株式会社

中部ガス不動産 株式会社
豊橋市広小路三丁目91
サーラ広小路ビル
0532-51-5800

「安心安全」が優先されなければなりません。例えば、ビル管理では色々な場所で修繕等の投資をしなければなりません。経費をかけると当期の収益が減少するのではないかと考えてしまう傾向があります。ですが、目の前の利益を追求するのではなく、お客様を守るため「お客様ファースト」であることを徹底し、特に安全面に関連することは惜しまず投資するように指導しています。

赤間▼「em CAMPUS」について、建設までの経緯やコンセプトについて教えてください。

赤間▼「豊橋市まちなか図書館」をはじめ、「共創」をコンセプトに学びの場として人々や企業を応援する「emCAMPUS STUDIO」、東三河の食の発信拠点を目指す「emCAMPUS FOOD」など、食・健康・学を楽しみつつながら、東三河の「笑む」に満ちたキャンパスを目指しました。こちらは2003〜2004年にかけて駅前に建てられたサーラタワーやコリアアベニューを始まりとした、サーラグループが市街地開発として打ち出した長期ビジョン「東三河元気化計画」の一環として実現している。

赤間▼「東三河元気化計画」の一環として実現している。このように、東三河の文化や情報を発信する拠点を実現して行きたいと考えています。

赤間▼「em CAMPUS」について、建設までの経緯やコンセプトについて教えてください。

赤間▼「豊橋市まちなか図書館」をはじめ、「共創」をコンセプトに学びの場として人々や企業を応援する「emCAMPUS STUDIO」、東三河の食の発信拠点を目指す「emCAMPUS FOOD」など、食・健康・学を楽しみつつながら、東三河の「笑む」に満ちたキャンパスを目指しました。こちらは2003〜2004年にかけて駅前に建てられたサーラタワーやコリアアベニューを始まりとした、サーラグループが市街地開発として打ち出した長期ビジョン「東三河元気化計画」の一環として実現している。

赤間▼「東三河元気化計画」の一環として実現している。このように、東三河の文化や情報を発信する拠点を実現して行きたいと考えています。

赤間▼「em CAMPUS」について、建設までの経緯やコンセプトについて教えてください。

赤間▼「豊橋市まちなか図書館」をはじめ、「共創」をコンセプトに学びの場として人々や企業を応援する「emCAMPUS STUDIO」、東三河の食の発信拠点を目指す「emCAMPUS FOOD」など、食・健康・学を楽しみつつながら、東三河の「笑む」に満ちたキャンパスを目指しました。こちらは2003〜2004年にかけて駅前に建てられたサーラタワーやコリアアベニューを始まりとした、サーラグループが市街地開発として打ち出した長期ビジョン「東三河元気化計画」の一環として実現している。

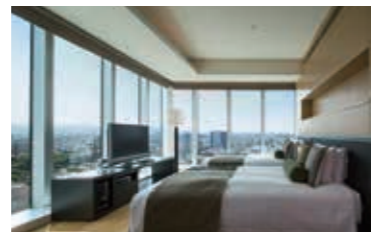
赤間▼「東三河元気化計画」の一環として実現している。このように、東三河の文化や情報を発信する拠点を実現して行きたいと考えています。

赤間▼「em CAMPUS」について、建設までの経緯やコンセプトについて教えてください。

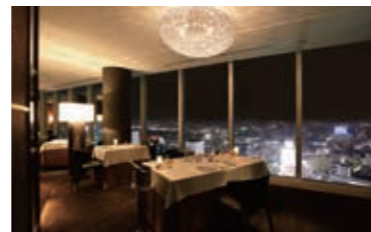
赤間▼「豊橋市まちなか図書館」をはじめ、「共創」をコンセプトに学びの場として人々や企業を応援する「emCAMPUS STUDIO」、東三河の食の発信拠点を目指す「emCAMPUS FOOD」など、食・健康・学を楽しみつつながら、東三河の「笑む」に満ちたキャンパスを目指しました。こちらは2003〜2004年にかけて駅前に建てられたサーラタワーやコリアアベニューを始まりとした、サーラグループが市街地開発として打ち出した長期ビジョン「東三河元気化計画」の一環として実現している。

OTHER BUSSINES

【ホテル・飲食事業】



ホテルアークリッシュ 豊橋

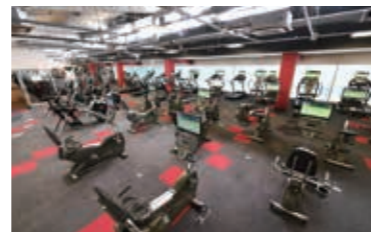


RESTAURANT KEI

【スポーツ事業】



サーラスポーツ 豊橋



フィットネスクラブ 豊橋



インドアテニススクール 豊橋



インドアテニススクール 豊川



スイミングスクール 豊橋

「人のつながり」の創出に励み、より良いまちづくりを実現することで地域に貢献し続けたいと考えています。

赤間▼「東三河元気化計画」の一環として実現している。このように、東三河の文化や情報を発信する拠点を実現して行きたいと考えています。

赤間▼「em CAMPUS」について、建設までの経緯やコンセプトについて教えてください。

赤間▼「豊橋市まちなか図書館」をはじめ、「共創」をコンセプトに学びの場として人々や企業を応援する「emCAMPUS STUDIO」、東三河の食の発信拠点を目指す「emCAMPUS FOOD」など、食・健康・学を楽しみつつながら、東三河の「笑む」に満ちたキャンパスを目指しました。こちらは2003〜2004年にかけて駅前に建てられたサーラタワーやコリアアベニューを始まりとした、サーラグループが市街地開発として打ち出した長期ビジョン「東三河元気化計画」の一環として実現している。

赤間▼「東三河元気化計画」の一環として実現している。このように、東三河の文化や情報を発信する拠点を実現して行きたいと考えています。

赤間▼「em CAMPUS」について、建設までの経緯やコンセプトについて教えてください。

赤間▼「豊橋市まちなか図書館」をはじめ、「共創」をコンセプトに学びの場として人々や企業を応援する「emCAMPUS STUDIO」、東三河の食の発信拠点を目指す「emCAMPUS FOOD」など、食・健康・学を楽しみつつながら、東三河の「笑む」に満ちたキャンパスを目指しました。こちらは2003〜2004年にかけて駅前に建てられたサーラタワーやコリアアベニューを始まりとした、サーラグループが市街地開発として打ち出した長期ビジョン「東三河元気化計画」の一環として実現している。

